

| 科 目 名                                                         |
|---------------------------------------------------------------|
| <b>コンピュータシステム実験Ⅰ</b><br><b>Practices of Computer System Ⅰ</b> |

2年 後期 1単位 選択

木 村 義 政

## 概 要

情報処理基礎ではパソコンに標準的に装備されている Word、Power point、Excel の基本操作を学んだ。本実験ではこれを発展させ、将来、技術者あるいは研究者としての活動に必要となるより高度な処理ができる能力を身につける実験を行う。具体的には、パソコンに装備されているアプリケーションツールを用いて、プレゼンテーション技法、ビデオの動画の編集技術、および、多変量解析の技法を実験を通じて習得する。

## 目 標

- 1) プレゼンテーション技法を習得する。
- 2) ビデオ動画編集技術を習得する。
- 3) 多変量解析の機能を理解し、実際の問題に適用できる力を習得する。

## 授業計画

| テ ー マ              | 内 容                     |
|--------------------|-------------------------|
| ① プレゼンテーション (その 1) | 目的、方法、プレゼンテーションソフトの種類   |
| ② プレゼンテーション (その 2) | アウトライン、背景の設定、図形描画       |
| ③ プレゼンテーション (その 3) | テーマ設定、調査、スライド製作         |
| ④ プレゼンテーション (その 4) | 設定したテーマについて発表           |
| ⑤ ビデオ動画編集 (その 1)   | ビデオカメラによる撮影とパソコンへのデータ転送 |
| ⑥ ビデオ動画編集 (その 2)   | ビデオデータのトリミングと特殊効果の付与    |
| ⑦ ビデオ動画編集 (その 3)   | 各班に分かれて企画、撮影            |
| ⑧ ビデオ動画編集 (その 4)   | 班単位での発表会と講評             |
| ⑨ 実用多変量解析 (その 1)   | 多変量解析の基礎                |
| ⑩ 実用多変量解析 (その 2)   | データの準備                  |
| ⑪ 実用多変量解析 (その 3)   | 多変量解析の実際の手順             |
| ⑫ 実用多変量解析 (その 4)   | 身近な問題への適用と結果の分析         |

## 授業方法

コンピュータ演習室にて実験を行う。各テーマの成果は指定期日までに指導教員に提出する。

## 評価方法

各テーマの成果報告書を成果発表会での発表で判定する。

## 教 材

各テーマでプリントを用意する。